令和６年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償基金協力
「チャイルド・ヘルプライン･コールセンター建設計画」起工式の実施

在ボツワナ日本国大使館

令和７年５月２２日

令和７年５月２１日、令和６年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償基金協力「チャイルド・ヘルプライン･コールセンター建設計画」（供与額８５，１１３米ドル）の起工式が、被供与団体チャイルドライン・ボツワナのマシェテ事務局長、子ども福祉・基礎教育省及び地方自治・伝統問題省の関係者出席の下、ハボローネにて行われました。

本計画は、ハボローネ市ブロック７に位置するチャイルドライン・ボツワナの敷地内に、チャイルド・ヘルプライン用の電話室２部屋、事務室２部屋、会議室１部屋、キッチン、トイレ、受付、待機室で構成されるコールセンター棟を建設し、備品を整備することにより、ボツワナ全土からの児童相談緊急電話対応の体制を強化することを目的としています。

起工式において、進藤大使は「国があらゆる形態の暴力から子どもたちを守ることは、国連子どもの権利条約に示されているとおり、子どもの基本的な権利であり、本計画により、弱い立場にあるボツワナの子どもたちへの支援を改善し、保護を強化することができる」旨、述べました。

起工式出席者の様子

鍬入れを行う進藤大使